

玄関戸用電気錠システム 取り扱い説明書

—マルチモニターシステム—

警告

安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず取り扱い説明書をお読みください。
そのあと、必要に応じていつでも読めるように大切に保管してください。

はじめに

このたびは、電気錠システムをご採用いただきありがとうございます。
このシステムは、台所・居間など室内側に取付けたコントローラで電気錠を遠隔操作し、玄関ドアを施解錠できます。また、室外側（玄関先）でキーを使用せず5キーまたは10キーの操作だけで施解錠できます。

末永くご利用いただくために、ご使用前にこの取り扱い説明書を最後までお読みください。
なお、ご不明な点などがありましたら最寄りのトステム(株)の営業所にお問い合わせください。

目次

1. 安全について	1~2
2. システム概要	3~4
3. 各部の名称とはたらき	5~7
4. 操作方法	8~32
5. お手入れについて	33
6. 故障かなと思ったら	33

1. 安全について

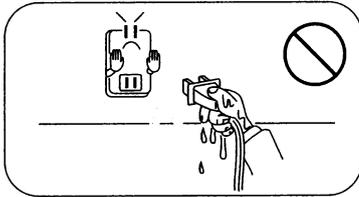
警告用語の種類と意味

この取り扱い説明書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）に従って次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し本書の内容（指示）に従ってください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障等につながる場合に用います。

⚠ 警告

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



- 機器内部には高電圧がかかっている部分があります。本体をあけないでください。感電の原因となります。

- 機器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。

- 電源プラグの部分にほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。

- 機器に液体（水、ジュース、薬品など）が入ったり、ぬらさないようにしてください。火災、感電の原因となります。

お願い

- 5キー・10キー解錠装置は周囲温度がマイナス10°C以下になると作動しないことがあります。冬期は必ず鍵を携帯して、お出かけください。
- 屋内専用です。屋外では使用できません。
- 停電時には使用できません。
- 落雷による影響で機能障害がおきる場合があります。
- 放送局などのアンテナに近接する地域では、放送が混入する場合があります。
- 壁掛け使用时、上面が黒くすすける場合がありますが、故障ではありません。
- 本体および受話器が多少温かくなりますが、異常ではありません。
- OA機器、テレビ、ラジオなどの近くで使用しますと電波に影響をおよぼしたり雑音が入ったりしますので使用場所に注意してください。
- 携帯電話機を近接する場所で使用すると、誤動作の原因となることがあります。
- 以下のような時はタッチキーにて解錠できなくなります。必ず手動キーを持参して外出してください。
 - ・タッチキーが電池切れの場合
 - ・制御器が電池切れの場合（簡易タッチキー仕様）
 - ・停電の場合
 - ・タッチキーを持たずに外出された場合

使用上のご注意（通話）

- カラーモニター付親機・増設親機と玄関子機で通話するときは相手の話が終わらないうちに話すと、声かとぎれて聞こえることがあります。話がいったん終わったところで話すとスムーズな会話ができます。
- カラーモニター付親機・増設親機から50cm以内の距離で通話してください。離れすぎると音声聞き取りにくくなる場合があります。
- カラーモニター付親機・増設親機と玄関子機のまわりの音が騒がしいとき（子供の泣き声、ステレオの音響など）は、音声かとぎれて聞き取りにくくなる場合があります。

停電になったときの状態

停電時

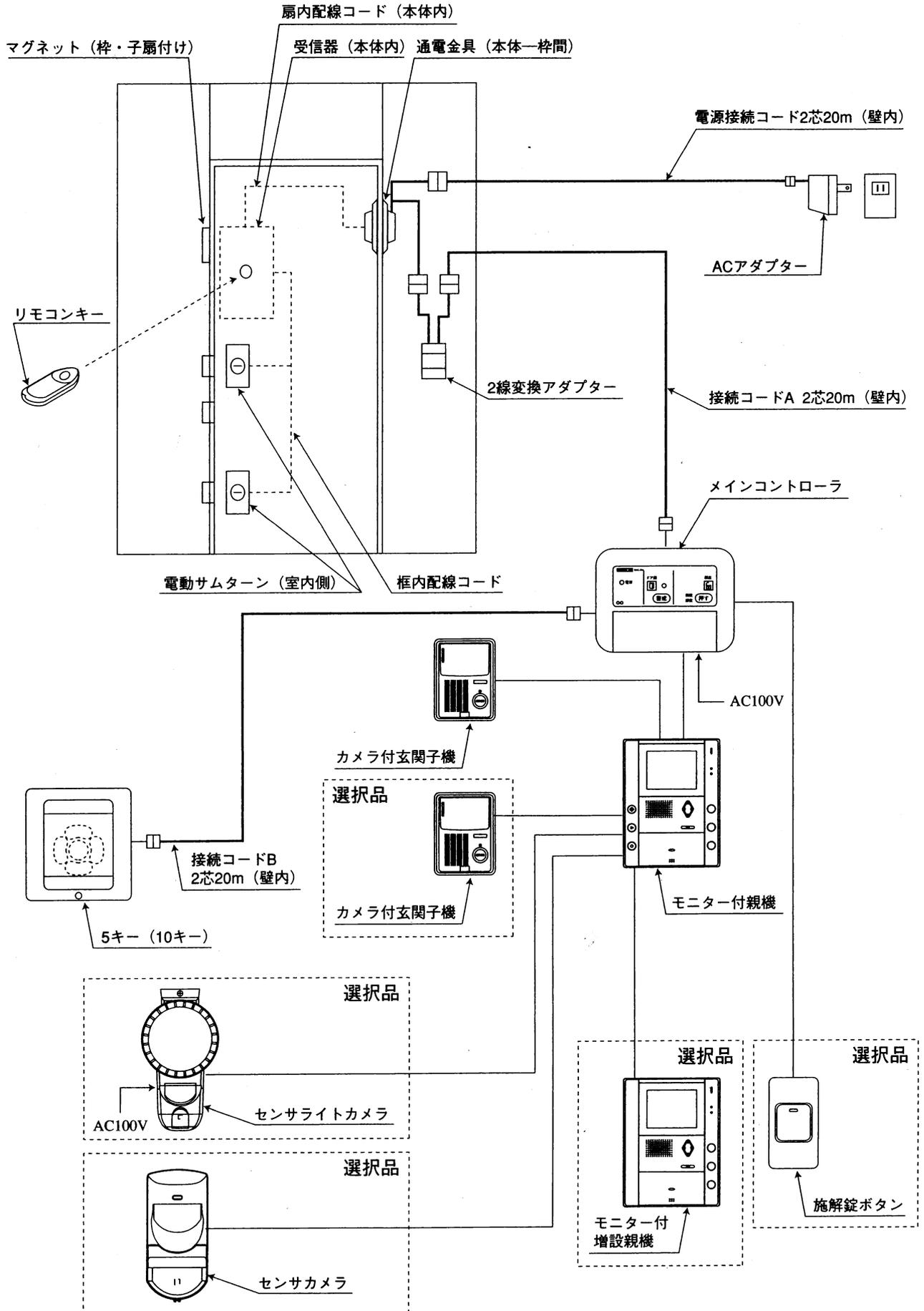
（電源表示灯が
消灯します。）

- リモコン操作による施解錠はできません。鍵、サムターンで操作してください。
- 鍵、サムターンで操作するまでは、電気錠は停電前の状態のままです。
- 電源が復帰しても、電気錠は停電前のままです。
- 玄関子機は使用できません。現に行われているドアホン通話もきれます。
- 室内呼出・通話もできません。現に行われている室内通話もきれます。
- 停電復帰後、1回目のリモコン操作では施解錠しません。2回目の操作から正常作動します。

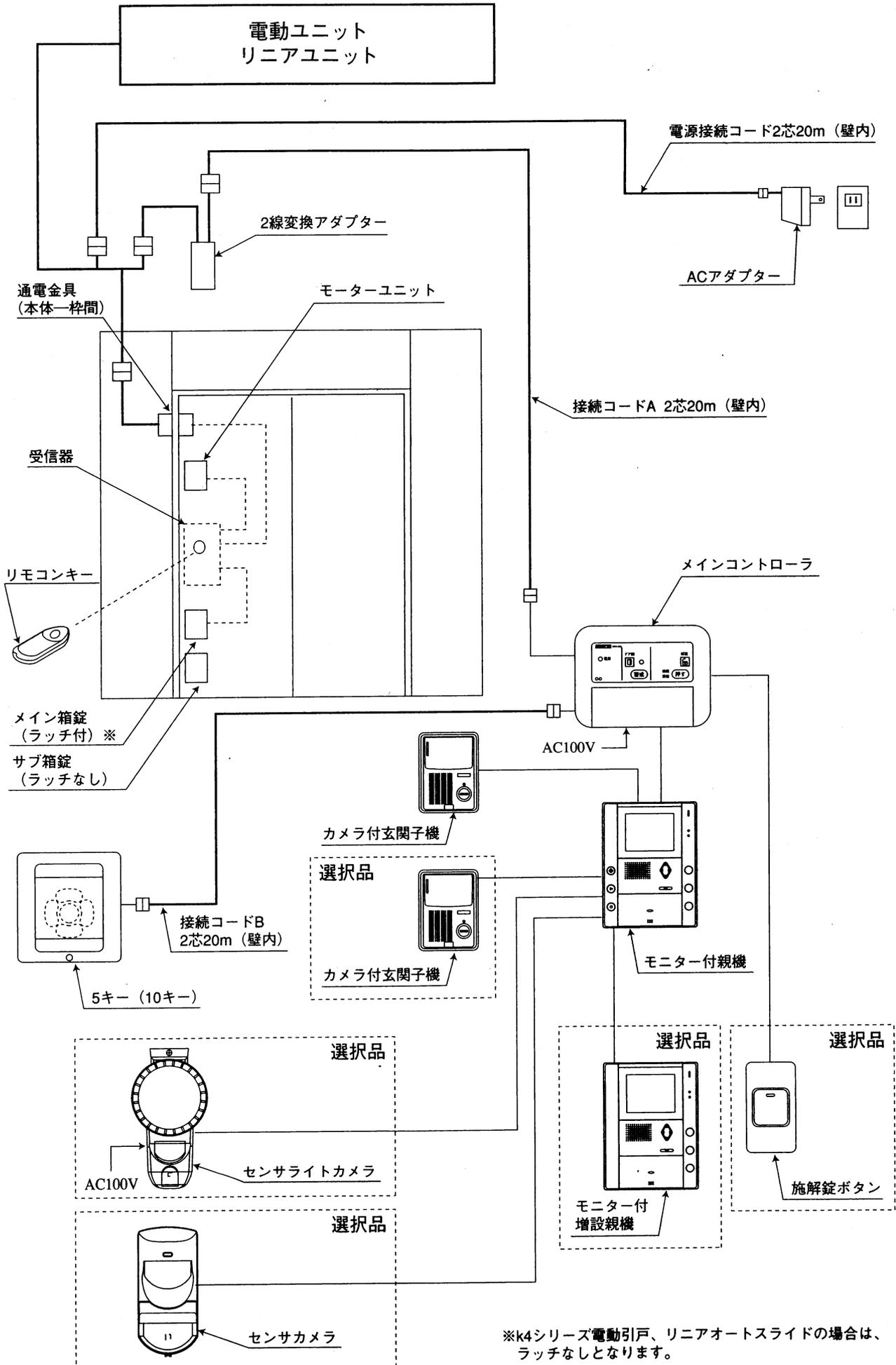
2. システム概要

システム全体の名称

A. 玄関ドアの場合

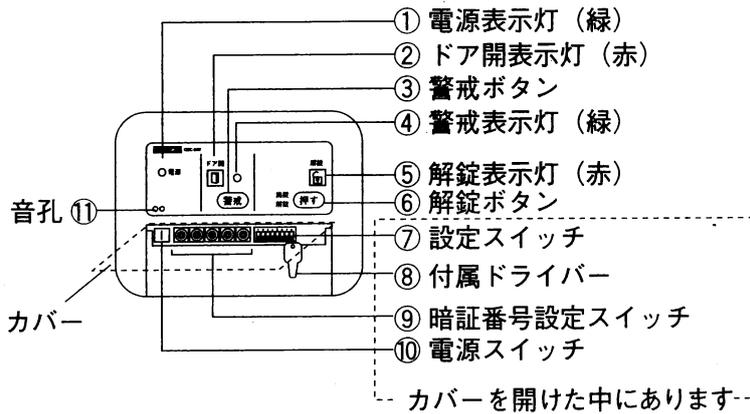


B. 玄関引戸の場合



※k4シリーズ電動引戸、リニアオートスライドの場合は、ラッチなしとなります。

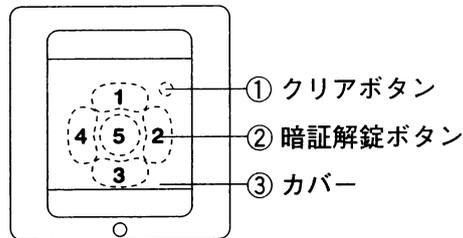
3. 各部の名称とはたらき



①	機器に電源が入っているときに点灯します
②	ドアが開いているときに点灯します
③	警戒状態に設定するときに押します
④	警戒状態のときに点灯します
⑤	電気錠が解錠状態のときに点灯します
⑥	施解錠操作をします
⑦	システムの機能を設定します(初期設定のみ) :あとはさわらないでください
⑧	暗証番号を設定するときに使用します
⑨	暗証番号を設定します
⑩	電源の入/切をします
⑪	警告音が出ます

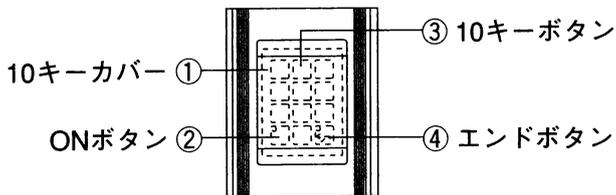
②-1. 5キー解錠装置

数字列の表示



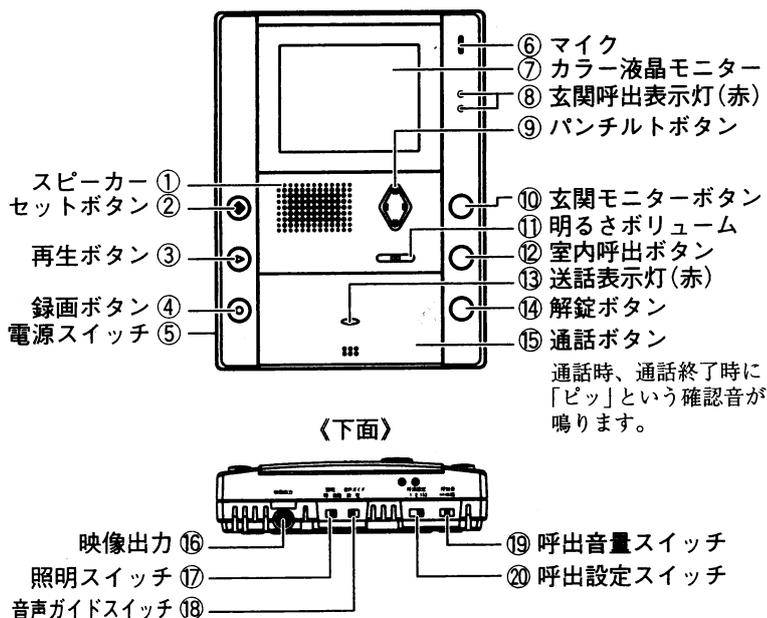
①	暗証番号を誤って入力したときに押します
②	暗証番号を入力するときに押します (1~5)
③	カバーを開けて操作します

②-2. 10キー解錠装置



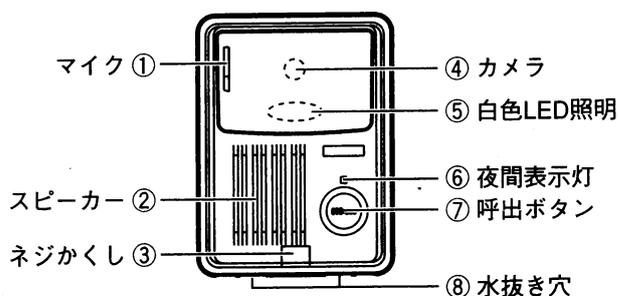
①	カバーを開けて操作します
②	暗証番号を入力する前に押します
③	暗証番号を入力するときに押します
④	暗証番号の入力終了後に押します

③ モニター付親機



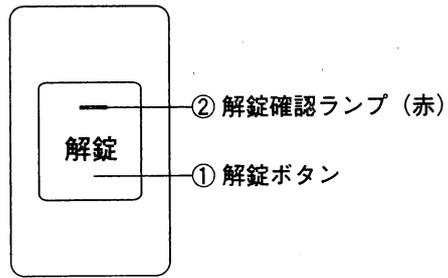
①	玄関子機および増設親機からの音声がかかります
②	警戒設定するとき、または画面を保存するときを押します
③	再生するときを押します
④	録画するときを押します
⑤	ONの状態で使用します
⑥	お話しするときに使います
⑦	カメラ付玄関子機からの呼出時、またはモニターボタンを押したとき、映像がうつります
⑧	玄関子機から呼び出しがあると点灯します(来客表示灯1、2)
⑨	カメラを上下左右に動かします
⑩	玄関先をカメラで見るときに使います
⑪	見やすい明るさに調節できます
⑫	増設親機に呼び出しをかけるときに押します
⑬	通話中は点灯します
⑭	電気錠を解錠するときを押します
⑮	通話するときを押します
⑯	AV機器に映像を送るときに接続します
⑰	カメラ付玄関子機の照明を自動的に点灯させる、または点灯させなくします
⑱	“インターホンの正面にお立ちください”メッセージの有無を選択します
⑲	呼出音量が調節できます(3段階：小・中・大)
⑳	玄関子機からの呼び出しを指定できます(3種：1・2・1&2)

④ カメラ付玄関子機



①	親機へ音声を送ります
②	親機からの音声がかかります
③	取付ネジをかくします
④	来訪者を映します(上下左右に動かせます)
⑤	暗いときに呼出ボタンを押すと自動的に点灯します
⑥	夜間でもドアホンの位置を知らせます
⑦	ボタンを押しますと親機に呼び出しがかかります
⑧	水をはきだす穴です、ふさがないでください

⑤ 施解錠ボタン (選択品)

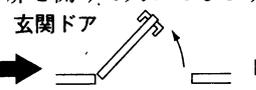
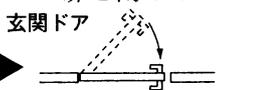


①	ボタンを押しますと電気錠が施解錠されます
②	解錠状態のときに点灯し施錠状態のときに消灯します

4. 操作方法

①-1. メインコントローラの操作

A. 解錠ボタンによる操作

操作手順	操作前	解錠ボタンを押す 	扉を開けて入ってもらう 玄関ドア  玄関引戸 電気錠単体 電動引戸・リニアオート 自動で開扉	扉を閉める 玄関ドア  玄関引戸 電気錠単体 電動引戸・リニアオート 自動で閉扉	
	ランプの状態	□ ドア開…消灯 □ 解錠…消灯	□ ドア開…消灯 □ 解錠…点灯	□ ドア開…点灯 □ 解錠…点灯	□ ドア開…消灯 □ 解錠…消灯
	電気錠の状態	施錠	解錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

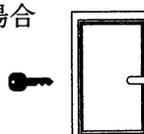
- ・解錠操作をしても扉を開けなかった場合→約30秒後に自動的に施錠されます。
- ・留守番を残して外出するときも同様に操作します。(30秒以内に扉を開けて外に出ます)

B. 手動で解錠したときの施錠操作

操作手順	操作前	解錠ボタンを押します 	
	ランプの状態	□ ドア開…消灯 □ 解錠…点灯	□ ドア開…消灯 □ 解錠…消灯
	電気錠の状態	解錠	施錠

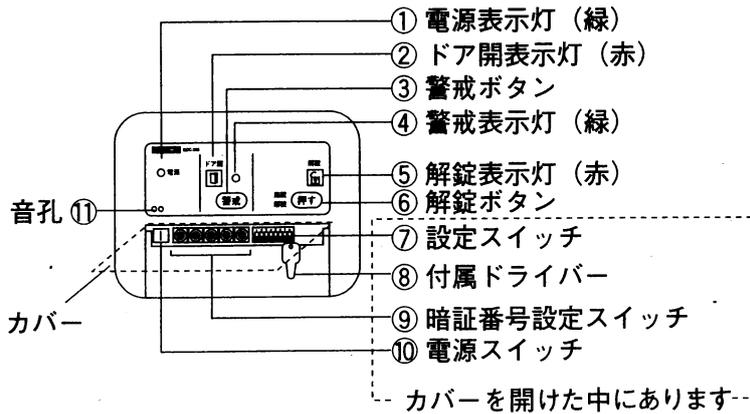
- ・扉が開いているときは施錠できません。

C. 警戒操作—おやすみになる前などに操作

操作手順	警戒ボタンを押す 	扉がこじ開けられた場合 	電気錠が合鍵・リモコンなどで解錠された場合 	ただちに扉の状態を確認し警戒ボタンを押す 	
	ランプの状態	● 警戒…点灯 □ ドア開…消灯 □ 解錠…消灯	● 警戒…点滅 □ ドア開…点滅 □ 解錠…消灯	● 警戒…点滅 □ ドア開…消灯 □ 解錠…点滅	● 警戒…点灯 □ ドア開…点灯 □ 解錠…点灯
	警告音	—	ピーピーピー	ピーピーピー	警告音は止まります

- ・警戒状態を解除するには、再度警戒ボタンを押します。(警戒表示灯が消灯します)
- ・警告音停止後は、もう一度警戒ボタンを押し、警戒状態を解除してください。
- ・異常事態が起きたときに、警戒ボタンを押さなくても警告音は約10分後に自動的に止まります。(警戒表示灯は警戒状態を解除するまで消灯しません)
- ・警告音は5キー、10キー解錠装置でも鳴動します。

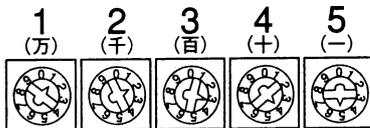
①-2. メインコントローラの設定



■暗証番号の設定

5キー

5桁を設定します。(例: 12345)

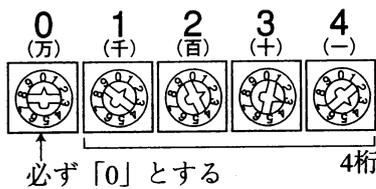


お願い

- 目盛りは1から5の間で合わせ、5桁とも違う数字を使ってください。
- ➡指の触れる回数を5つのボタンで均等にして、汚れなどで暗証番号を推定されるのを防止するためです。

10キー

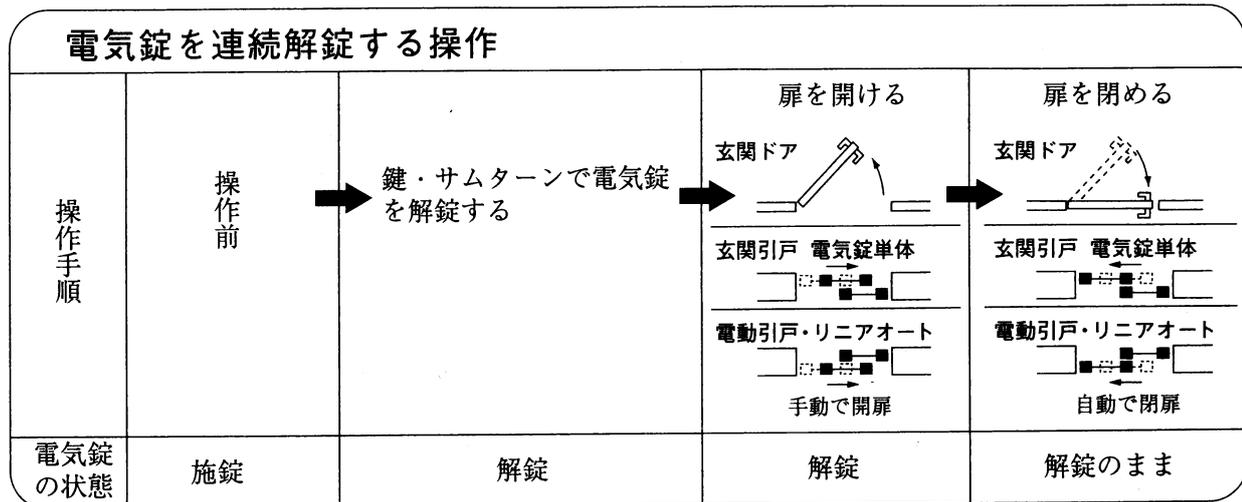
4桁を設定します。(例: 1234)



お願い

- 10キー式の場合、万の位は必ず“0”にしてください。
- 解錠するとき、万の位に設定した“0”は押さないでください。

② 手動での解錠と扉の開閉操作



- ・ 鍵・サムターンで解錠すると、扉を閉めても自動施錠はされず、解錠のままとなります。
- ・ 再び施錠するには鍵・サムターンを回してください。（メインコントローラ、5キー解錠装置等でも施錠できます）

お願い

- 電気錠を鍵またはサムターンで解錠した場合は、扉が閉まっても自動施錠されませんので、施錠する場合は、鍵またはサムターン操作もしくは、メインコントローラ等の解錠ボタンを操作してください。

留意 (k4シリーズ電動引戸の場合)

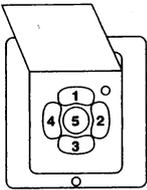
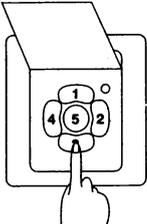
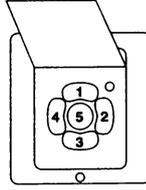
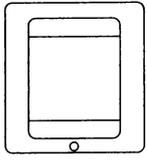
手動で解錠し、手動で引戸を開けた場合、センサーの検知エリアから離れると扉は閉まり始めますので、はさまれないよう注意してください。

(リニアオートスライドの場合)

手動で解錠操作をすると引戸が閉まっても自動施錠はされませんので、手動でサムターンツマミを操作して施錠します。（この時枠に当て4秒以内に施錠するようにしてください。解錠状態のまま4秒以上経過すると、通電金具の反発で自動で開いてしまいます。）

③-1.5 キー解錠装置の操作

数字列の表示

A. 解錠する操作				
操作手順	カバーを開ける	暗証番号5桁押す 「ピッ」「ピッ」...	「ピーピー」... (約5秒)	カバーを閉める
5キー・パネルの状態			 ※電動引戸・リニアオートの 場合、自動開扉	 ※電動引戸・リニアオートの 場合、自動閉扉
電気錠の状態	施錠	施錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

- ・約30秒間解錠します。(扉を開けなくても約30秒後には自動施錠します)
- ・この間に扉を開けてください。扉を閉めると自動施錠します。
- ・操作を間違えますと警告音「ピーピーピー」が鳴動します。クリアボタンを押して最初から操作しなおしてください。
- ・3回間違えますと警告音「ピーピーピー」が約90秒鳴動し、その間操作できなくなります。
- ・メインコントローラが警戒状態中に不正に解錠されたり、扉がこじ開けられると警告音「ピーピーピー」が鳴動(14ページ【警報機能について】をご覧ください)し、その間、操作ができなくなります。
- ・ボタン部の照明(バックライト)は、常時点灯していますが、警告音鳴動中は警告音にあわせて点滅します。

B. 施錠する操作：電気錠が鍵・サムターンで解錠しているとき

上記操作をすると施錠されます

- ・扉が開いているときは施錠できません。

③-2. 10キー解錠装置の操作

A. 数字列の表示の確認

操作手順	操作前	ON 押す 「ピッ」	もう一度 ON 押す 「ピッ」	もう一度 ON 押す 「ピッ」
10キー・パネルの状態				
数字	数字消灯	ランダム配列	電話配列	数字消灯

B. 解錠する操作

操作手順	操作前	ON 押す 「ピッ」	暗証番号4桁押す 「ピッ」「ピッ」...	ON 押す 「ピーッピーッ5回」	⇒ 解錠
10キー・パネルの状態					
			ランダム配列、電話配列 どちらでも操作できます。		※電動引戸・ リニアオートの 場合は、 自動解錠→開閉 動作→自動閉扉 →自動施錠

- ・約30秒間解錠します。(扉を開けなくても約30秒間後には自動施錠します)
- ・この間に扉を開けてください。扉を閉めると自動施錠します。
- ・操作を間違えますと警告音「ピーピーピー5回」鳴動します。最初から操作しなおしてください。
- ・3回間違えますと警告音(ピーピーピー)が約90秒鳴動し、その間操作できなくなります。

C. 施錠する操作：電気錠が鍵・サムターンで解錠しているとき

上記操作をすると施錠されます

- ・扉が開いているときは、施錠できません。

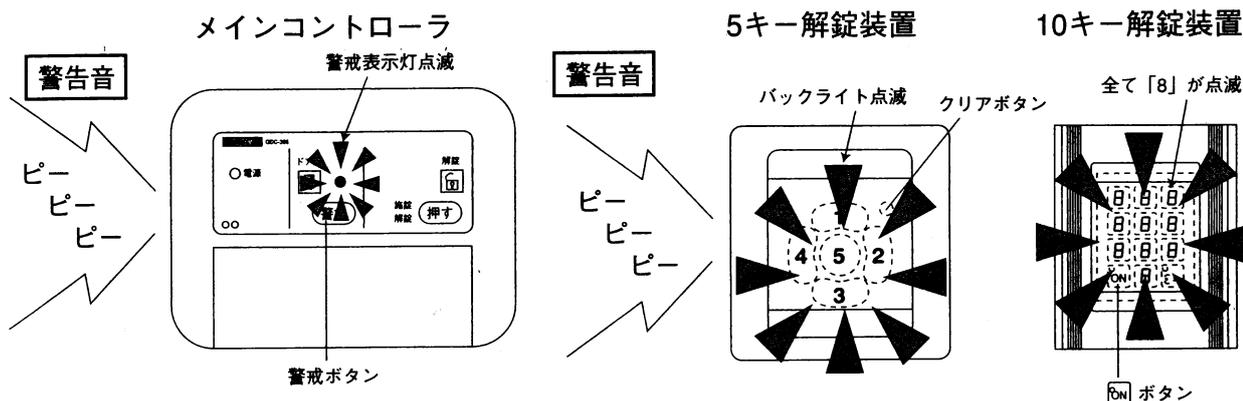
④ 自動扉の場合の留意事項

- 自動扉は解錠後に自動で扉が開き、開状態で一旦停止した後、扉が自動で閉まります。扉が閉まれば自動施錠します。
- 閉まりかけた扉にぶつかってしまうおそれがありますので扉を開けた状態で来訪者と立ち話しなどをされることはお止めください。
- 扉が自動で開きますので、来訪者の方に一言、声をおかけしてから開閉に支障がないことを確認してから解錠操作をしてください。

※詳しくは自動扉の取り扱い説明書をご覧ください。

⑤ 警報機能について

このシステムの安全性を高めるために下記の場合、警告音が鳴ります。



⑤-1. メインコントローラから警告音が出る原因と対応

原因	対応	ご注意
10キー解錠装置のミス操作を3回続けたとき	警戒ボタンを押してください (または約90秒後に自動的に鳴り止みます)	警告音が鳴っている間は施解錠操作はできません
警戒状態中に、 ・鍵・サムターン・リモコンで解錠した ・扉がこじ開けられた 等のとき (※)	警戒ボタンを押してください (または約10分後に自動的に鳴り止みます)	警戒表示灯は、もう一度警戒ボタンを押して警戒状態を解除するまで消えません
メインコントローラ、10キー解錠装置、施解錠ボタンで解錠し、扉を30秒以上開け放したとき	扉を閉めてください (扉を閉めるまで鳴り続けます)	扉を開け放しにするときは、鍵もしくはサムターンで解錠してください

⑤-2. 10キー解錠装置から警告音が出る原因と対応

※次の操作を行うと10キーの数字が消えます。

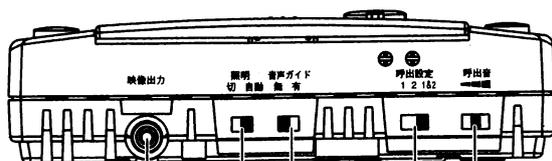
- ① を3回押したとき (警告音は鳴動しません)
- ② 3桁以下の数字を入力したとき (ピーピーピー5回)
- ③ ボタン操作間隔を10秒以上あけたとき (ピーピーピー5回)

原因	対応	ご注意
暗証番号を間違えて押したとき あるいは②、③を操作したとき (数字が消えます)	を押してください (または5回で自動的に鳴り止みます)	警告音が鳴っている間は施解錠操作はできません
ミス操作 (②あるいは上記) を3回続けたとき	メインコントローラの警戒ボタンを押してください (または約90秒後に自動的に鳴り止みます)	警告音が鳴っている間は施解錠操作はできません
メインコントローラが警戒状態中に、 ・鍵・サムターン・リモコンで解錠した ・扉がこじ開けられた 等のとき (※)	メインコントローラの警戒ボタンを押してください (または10キー解錠装置は約90秒後に、5キー解錠装置は約2分後に自動的に鳴り止みます)	メインコントローラの警戒表示灯は、もう一度警戒ボタンを押して警戒状態を解除するまで消えません

※メインコントローラ、10キー解錠装置、施解錠ボタンで解錠すれば警告音は鳴りません。

⑥ モニター付親機の設定

《下面》 図は出荷時の設定を示します。



呼出音量スイッチ

小・中・大に切り替えることができます。

呼出設定スイッチ

「1」：玄関子機①からのみ呼び出しがかかります。

「2」：玄関子機②からのみ呼び出しがかかります。

「1&2」：玄関子機①と②両方から呼び出しがかかります。

音声ガイドスイッチ

「無」：音声ガイドなし

「有」：“インターホンの正面にお立ちください”

(固定のメッセージ)

照明スイッチ

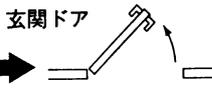
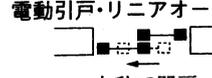
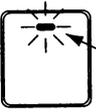
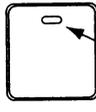
「切」：カラーカメラ付玄関子機の白色LEDが点灯しなくなります。

「自動」：カラーカメラ付玄関子機の白色LED照明が自動的に点灯します。

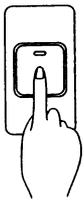
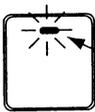
映像出力端子

AV機器に映像を送るときに接続します。

⑦ 施錠ボタン（選択品）の確認

A. 解錠する操作—電気錠が施錠状態のとき〔ランプ(赤)消灯〕					
操作手順	操作前	解錠ボタンを押します	扉を開ける	扉を閉める	
			 玄関ドア  玄関引戸 電気錠単体  電動引戸・リニアオート 自動で開扉	 玄関ドア  玄関引戸 電気錠単体  電動引戸・リニアオート 自動で閉扉	
	ランプの状態	 消灯	 点灯	 点灯	 消灯
	電気錠の状態	施錠	解錠	解錠	扉を閉めると自動的に施錠

- ・解錠操作をしても扉を開けなかった場合→約30秒後に自動的に施錠されます。
- ・メインコントローラが警戒状態中に不正に解錠されたり、扉がこじ開けられると、ランプが点滅します。

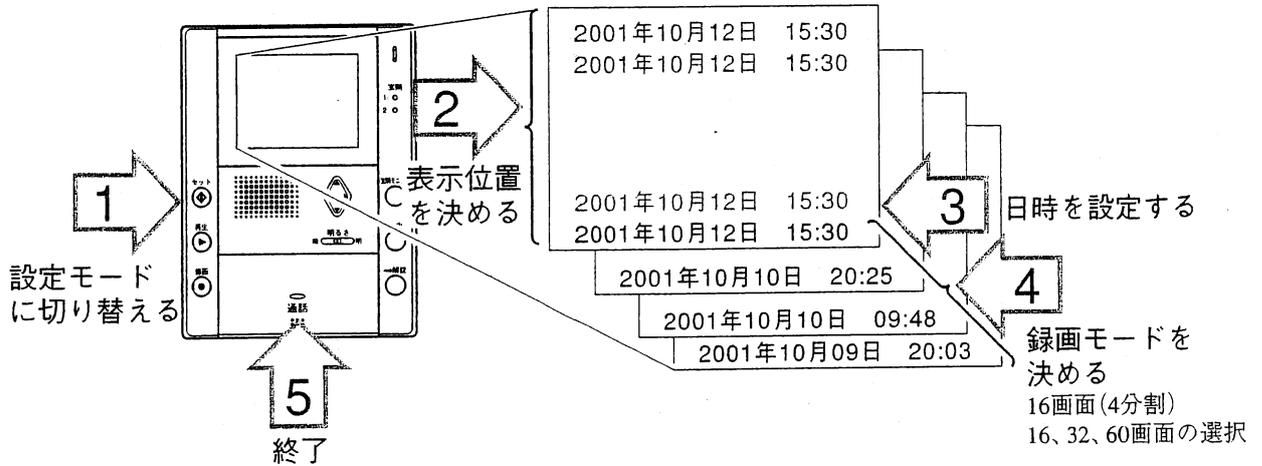
B. 施錠する操作—電気錠が鍵・サムターンで解錠状態のとき〔ランプ(赤)点灯中〕		
操作手順	操作前	解錠ボタンを押します
		
ランプの状態	 点灯	 消灯
電気錠の状態	解錠	施錠

- ・扉が開いているときは施錠できません。

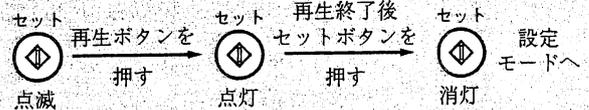
⑧ ご使用方法

■録画機能の準備

お使いになる前に、録画するための準備(1~5の手順)をしてください。

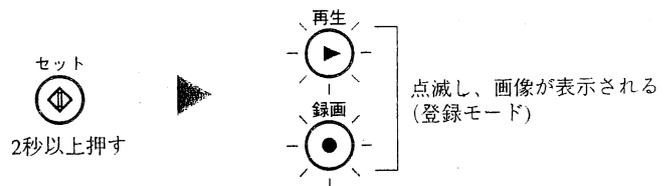


始める前に、セットボタンが点滅または点灯している場合は、右記の方法で消灯させてください。



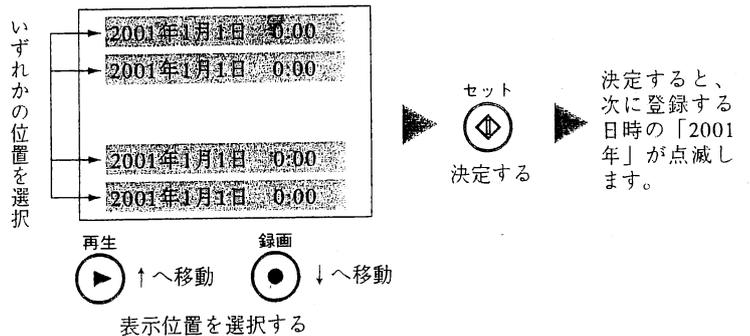
1 設定モードに切り替える

セットボタンを2秒以上押し、設定モードに切り替えます。



2 日時の表示位置を決める

再生ボタン(↑へ移動)、録画ボタン(↓へ移動)で選択し、セットボタンで決定します。

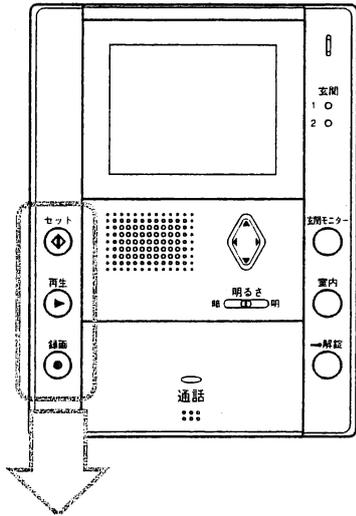


3 日時を設定する

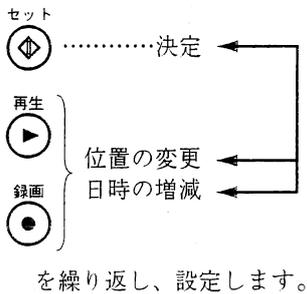
①【年】→②【月】→③【日】→④【時】→⑤【分】の順に、再生ボタン(+)、録画ボタン(-)で設定し、セットボタンで決定します。



●各項目の設定方法

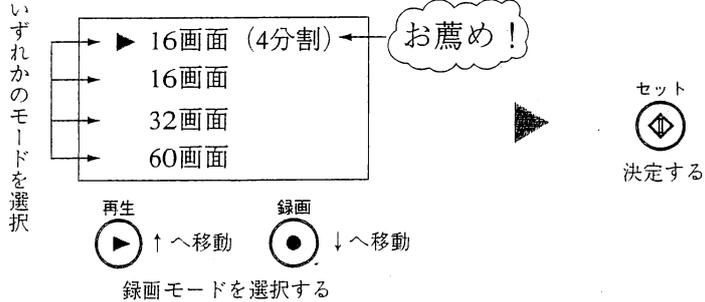


各手順とも



4 録画モードを決める

再生ボタン(↑へ移動)、録画ボタン(↓へ移動)で選択し、セットボタンで決定します。

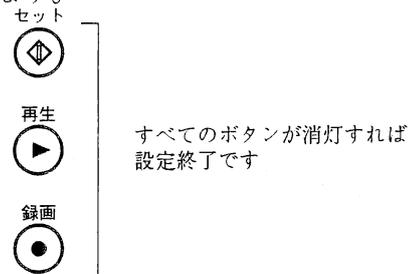


録画モードを変更すると過去に録画された画面が消えます。(消したくない場合は変更しないでください)

16画面(4分割)、および16画面モードでは録画と同時に録音もできます。32画面、60画面に設定すると録音はされません。

5 終了する

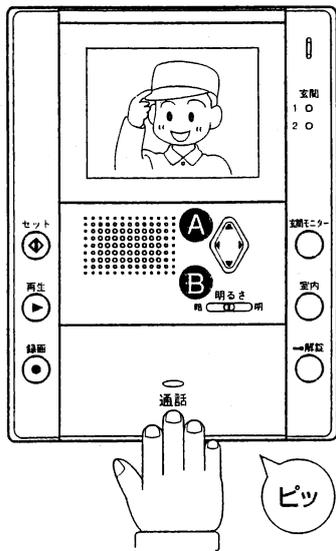
1~4の手順は約2分30秒で自動的に終了します。通話ボタンを押しても終了できます。



表示位置や日時のみ設定したい場合や、間違えて決定した場合の後もどりはできません。手順1「設定モードに切り替える」からやり直してください。

設定モードは約2分30秒で終了します。途中で終了した場合は、手順1「設定モードに切り替える」からやり直してください。

■呼び出し／応答



1 玄関子機の呼出ボタンが押され 呼出音が鳴ったら…

呼出音の後、外部の音声聞こえます。

P20

メモ 約30秒経つと映像・音声は切れます。
映像と音声も切れても、約30秒以内に通話ボタンを押せば、呼び出してきた玄関につながります。

2 通話ボタンを1回押す(1秒以内)

話しかけると送話表示灯が点灯し、相手の声(外の音)が聞こえているときには消灯します。

メモ 玄関の音大きいなどの理由で、会話がスムーズにできない場合は、強制的に送話するプレストーク通話便利です。

P19 「プレストークでの通話に切り替える」

3 終了する

通話ボタンを再度(1秒以内)押して終了します。

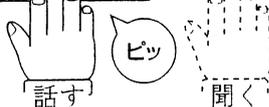
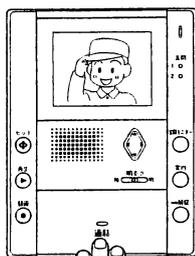
メモ 通話(映像)は約1分で自動的に終了します。
終了しても、約30秒以内に通話ボタンを押せば、再度呼び出してきた玄関につながります。

- A** パンチルトボタン
カメラを上下左右に動かせます。
(カメラ付玄関子機のみ)
- B** 明るさボリューム
見やすい明るさに調節できます。
- C** 送話表示灯
 - ①話しかけると点灯します。
(室内の声を不用意に外に漏らさないよう、声(音)が外に出ているときは点灯してお知らせします。)
 - ②相手の声(外の音)が聞こえているときは、消灯します。
 - ③お話は①②を交互に繰り返して行います。

上記動作により、送話表示灯は点灯したり消灯したりしますが、故障ではありません。

プレストークでの通話に切り替える

相手の音声が大きく、こちらが話しかけても話ができないなどの場合は、通話ボタンを押し続けてこちらの音声を送るプレストーク通話便利です。



1 通話ボタンを1秒以上押す

送話表示灯が点灯したら、ボタンを押したまま話しかけます。

2 通話ボタンをはなして、相手の声を聞く

1、2の操作で通話します。

メモ 相手の声を聞いているとき、送話表示灯は消灯しています。

3 終了する

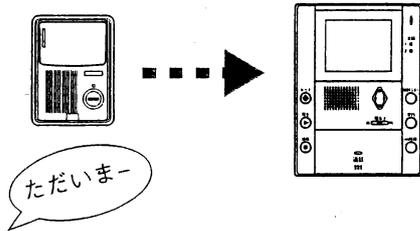
通話ボタンを押して(0.5秒以内)終了します。

通話ボタンを押す時間が短い(0.5秒以内)と通話が終了します。

呼出音に続き、外部の音声聞こえます。

ファミリーコール機能

●カラーカメラ付玄関子機の場合



呼び出しに 응답しなくても、玄関の様子を映像と音声で確認できます。
ご家族などの簡単なやりとりに便利です。

ただいま



玄関子機にはこの機能はありません。



呼出音・表示について

呼出音の種類と表示および映像でどこから呼び出されたかわかります。

接続機器	呼出音	表示	映像	ファミリーコール	通話	優先順位 ※2	呼出音増設スピーカー ※3
カラーカメラ付玄関子機1	ピンポーン・ピンポーン	玄関呼出表示灯1	○	○	○	2	○
玄関子機2	カメラ付 カメラ無	ビボバン・ビボバン・ビボバン ・ビボバン	○ —	○ —	○ ○		○ ○
室内機	ポーン	室内呼出ボタン	—	○	○	4	—
センサ(ライト)カメラ1 ※1	ポロロロロ...	—	○	○	受話のみ	3	○
センサ(ライト)カメラ2 ※1	ポロロ・ポロロ...	—	○	○	受話のみ		○
電気錠コントローラー	ピロピロピロ...	解錠ボタン	—	—	—	1	○

※1. 警戒セット(留守録画)中のみの対応となります。 **P25**

呼出音(警報音)の有無を設定できます。 **P27**

※2. 呼び出しが重なったとき、優先順位が高い方の呼び出しに切り替わります。

※3. 呼出音増設スピーカーは、カラーモニター付親機にのみ接続可能です。

■ご使用にあわせて、設定してください。

①映像出力端子

AV機器に映像を送るときに接続します。

②照明スイッチ

切 自動



「切」：カラーカメラ付玄関子機の白色LEDが点灯しなくなります。

「自動」：カラーカメラ付玄関子機の白色LED照明が自動的に点灯します。

③音声ガイドスイッチ

無 有



「無」：音声ガイドなし

「有」：“インターホンの正面にお立ちください”(固定のメッセージ)

④呼出設定スイッチ

1 2 1&2



「1」：玄関子機①からのみ呼び出しがかかります。

「2」：玄関子機②からのみ呼び出しがかかります。

「1&2」：玄関子機①と②両方から呼び出しがかかります。

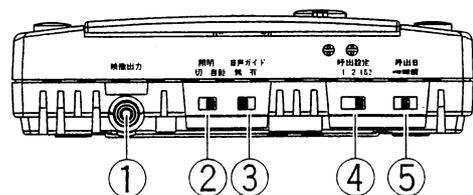
⑤呼出音量スイッチ

呼出音



小・中・大に切り替えることができます。

下面

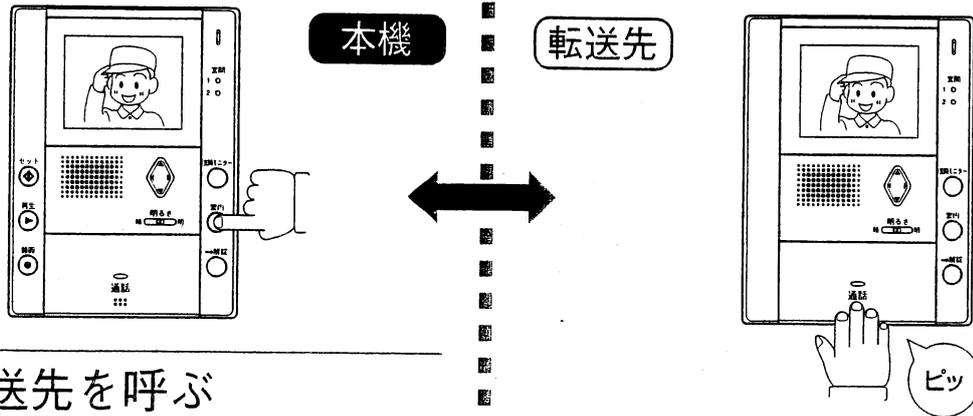


●白色LED照明は、カラーカメラ付玄関子機のまわりが暗い(夜間など)状態で呼び出しや玄関モニターをしたときに点灯します。明るい(昼間など)ときは点灯しません。(②照明スイッチ)

●呼出規制された玄関子機の呼出・録画(録音)はされません。(④呼出設定スイッチ)

●玄関子機との通話中など、呼出規制された玄関子機からの呼出音が鳴る場合があります。

■玄関との通話を転送する



1 転送先を呼ぶ

(玄関子機との通話が保留されます)

- 訪問者に待っていただき、室内呼出ボタンを押します。呼出音の後で転送先に呼びかけます。(一斉呼出になります)
- このとき、全部の室内機に映像が映ります。

2 室内間通話する

呼ばれた転送先が通話ボタンを押して通話します。

3 室内間通話を終える

どちらかが通話ボタンを1回(2秒以内)押して室内間通話を終わります。

- このとき、外部の音声聞こえます。

 玄関子機との通話保留時間は約30秒です。その間に室内間通話を終わってください。

4 玄関と通話する

転送先が通話ボタンを再度押して玄関と通話します。

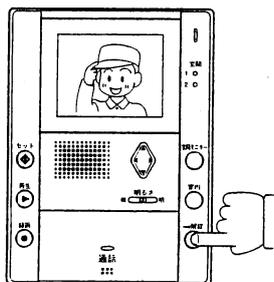
- このとき、本機の映像が消えます。

5 終了する

通話ボタンを1回(2秒以内)押して終了します。

 通話(映像)は約1分で自動的に終了します。

◎電気錠設備が設置されている場合

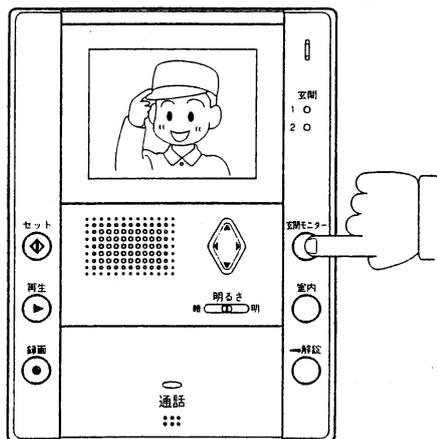


1 通話中に解錠ボタンを押す

解錠ボタンが点灯し、電気錠が解錠されます。

 電気錠設備により警戒警報音(ピロピロピロ)が鳴動する場合があります。詳しくは電気錠設備の説明書をお読みください。

■外部の様子を確認する（玄関モニター）



1 玄関モニターボタンを押す

玄関モニターボタンを押すと、モニターに玄関(玄関1)の様子が映し出され音声がかかります。通話ボタンを押さなければこちらの音声は相手に聞こえません。

2 モニター先を切り替える

玄関モニターボタンを押すと、【玄関1】→【玄関2】→【センサカメラ1】→【センサカメラ2】→【終了】と切り替わります。

玄関2にJA-Dを接続している場合やセンサカメラが接続されていない場合はスキップします。(モニターできません)

モニター中に玄関へ話しかけるには



通話ボタンを1回押して話しかけます

話しかけると送話表示灯が点灯し、相手の声(外の音)が聞こえているときには消灯します。

メモ 玄関の音が大いなどの理由で、会話がスムーズにできない場合は、強制的に送話するプレトーク通話でご使用ください。 **P19**

センサ(ライト)カメラへは話しかけられません。

3 終了する

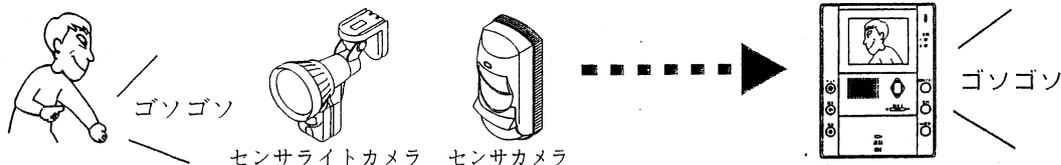
通話ボタンを1回(2秒以内)押して終了します。

メモ 玄関モニターは約30秒で自動的に終了します。再度、玄関モニターをするには、手順1からやり直してください。

メモ モニター中に玄関子機から呼ばれると、呼出側に切り替わり自動録画(録音)されます。(玄関モニターは終了します)

センサ(ライト)カメラ

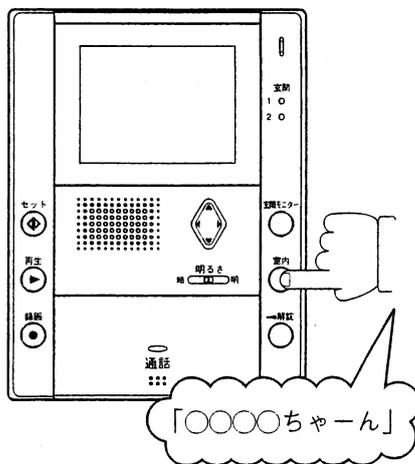
センサ(ライト)カメラにはマイクが内蔵されています。警戒先の様子を映像と周囲音で確認できます。このとき、センサライトカメラはライトが点灯します。



■ほかの室内機と通話する（室内間通話）

◎映像は映りません

本機



1 室内ボタンを押す

室内機全てに呼び出しがかかります。（一斉呼出となります）
呼出音が鳴った後に通話したい相手に話しかけます。（相手の返事は聞こえません。）

2 通話する

相手側が通話ボタンを押すと通話できます。
話しかけると送話表示灯が点灯し、相手の声が聞こえているときには消灯します。

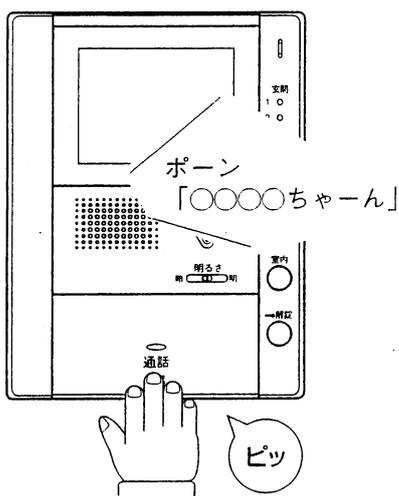
通話ボタンを押さないでください。通話が終了します。

3 終了する

通話ボタンを1回(2秒以内)押して終了します。



ほかの親機



1 通話ボタンを押す

1回(2秒以内)押してください。通話(ハンズフリー)状態となります。

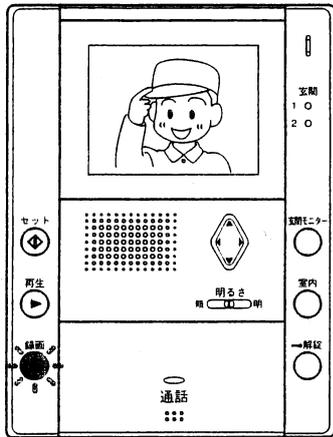
2 終了する

📖 室内間通話は約1分で自動的に終了します。
メモ 再度、室内間通話をするには、手順1からやり直してください。

録画（録音）する

自動録画（録音）

来訪者(玄関から呼ばれたら)の録画(録音)を自動的に行います。



1 玄関から呼ばれると自動録画(録音)します

録画時には録画ボタンが点灯します。

※センサ(ライト)カメラは警戒セット(留守録画)中のみ自動録画します。P25

<16画面(4分割)の録画モード>



呼出後、約1・5・9・13秒後の様子を録画します。

<16/32/60画面の録画モード>



約1秒後の様子を録画します。

16画面(4分割)および16画面の場合、呼出音の後、約15秒間録音します。

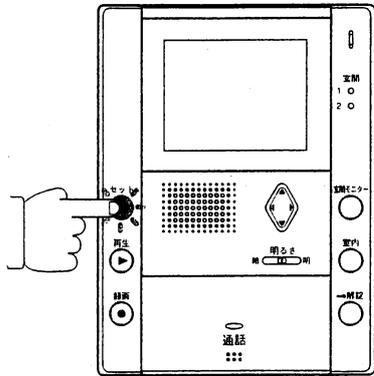
P18 「録画モードを決める」



- 自動録画機能をキャンセルすることはできません。
- 玄関モニター中の画面は自動録画されません。→手動録画してください。
- 自動録画が行われたとき、モニターの画面が消えてから約15秒間は、次の呼び出しがあっても自動録画は行われません。→いたずら防止機能
- 再生した後、モニターの画面が消えてから約4秒間は自動録画は行われません。
- 自動録画(録音)中に通話ボタンを押すと、それ以後の録音はされません。
- 増設親機間で室内間通話中は自動録画(録音)されません。
- 自動録画(録音)中にほかのカメラ付玄関子機やセンサ(ライト)カメラからの呼び出しがあると、映像(音声)が切り替わるため録画された映像と音声不一致場合があります。
- 呼び出しがかかっているとき(自動録画(録音)終了後)は、ほかのカメラ付玄関子機やセンサ(ライト)カメラからの呼び出しがあっても自動録画(録音)されません。
- 録画中にほかの玄関子機などからの呼び出しがあると、録画画面が乱れる場合があります。

警戒セット(留守録画)

本製品は自動録画機能で常時来訪者を録画しますが、警戒セット(留守録画)機能を使用することにより留守中の来訪者をより確実に確認することができます。
また、センサ(ライト)カメラをお使いの場合センサが働き侵入者の様子を録画(録音)します。



1 警戒セット(留守録画)をセットする

セットボタンを1回(2秒以内)押すとボタンが点灯し、セット状態となります。

2秒以上押すと「設定モード」になります。 **P17**

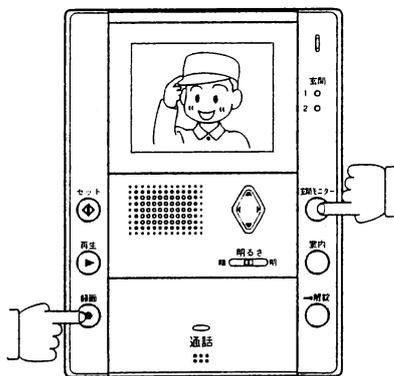
2 解除する

再度、セットボタンを押します。
セットボタンが消灯します。

メモ セットボタンが点滅しているときは、解除できません。
録画画面を再生してください。 **P28**

手動録画(録音)

録画(録音)を手動で行います。



1 モニター画面を確認する

玄関モニター操作などで、映像を映します。 **P22**

2 録画ボタンを押す

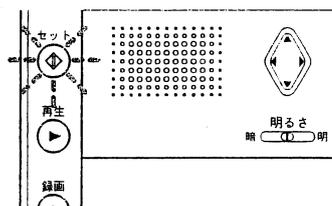
録画ボタンがいったん点灯し録画が行われます。

メモ 16画面(4分割)および16画面の場合、約15秒間録音もします。 **P18** 「録画モードを決める」

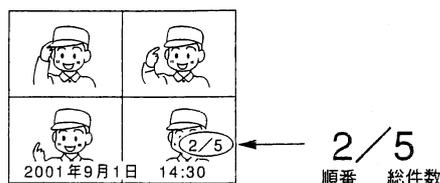
メモ ●16画面(4分割)の録画モードを選択されていても、手動による録画は1画面です。
●カラーカメラ付玄関子機からの呼出時、手動録画を行うと、そのときに自動録画していた画面は上書きされます。

警戒セット(留守録画)中は

① 留守中の来訪者がわかります



② 留守中の来訪者数がわかります



セットボタンが点滅し来訪者があったことを知 再生すると、留守中の来訪者の件数を表示します。らせませす。(再生すると点灯状態にもどります)

③ センサ(ライト)カメラが設置されていると

警戒セット(留守録画)セット後、1分以上経過するとセンサ(ライト)カメラが連動します。



1 センサ(ライト)カメラが侵入者を感知すると、警報音と映像で知らせます。

P20 「呼出音・表示について」

メモ 警報音は鳴らないようにすることもできます。 **P27**

2 自動録画(録音)します。

メモ 16画面(4分割) および16画面の録画モードの場合、約15秒間録音もします。
P18 「録画モードを決める」

3 警報音、映像とも約30秒で自動的に切れます。

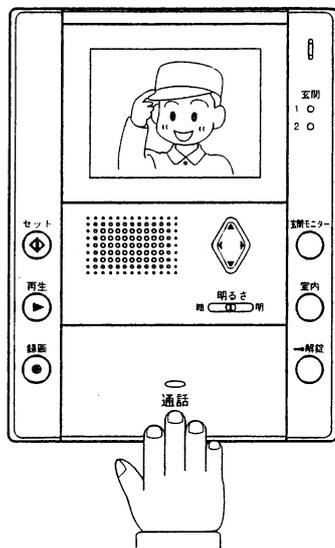
- メモ** ● 通話ボタンを押すと、警報音が止まり周囲音が聞こえます。さらに、通話ボタンを押すと映像が消えます。
- センサ(ライト)カメラと通話することはできません。
- 警戒セット(留守録画)を解除すれば、センサ(ライト)カメラの録画(録音)、呼び出しはされませんが、センサ(ライト)カメラは監視状態を保持します。

センサ(ライト)カメラの感知範囲や、ライトの点灯時間などを変更する場合は、センサ(ライト)カメラの説明書をご覧ください。工事店・販売店にご相談ください。

4 センサ(ライト)カメラの警報音を鳴らないようにするには

1 通話ボタンを5秒以上押す

設定確認音が鳴ったら通話ボタンをはなします。



【設定確認音】

設定前(現状)	設定後	設定確認音
有	無	ピー
無	有	ポロロロ (3秒間)

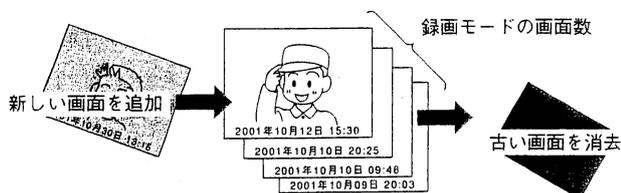


- 通話(映像)中は設定できません。
- 電源を一度OFFにしてからONにしたとき、および停電復旧時の警報音の設定は有です。

2 モニター付親機、モニター付増設親機、モニター無増設親機ごとに設定してください

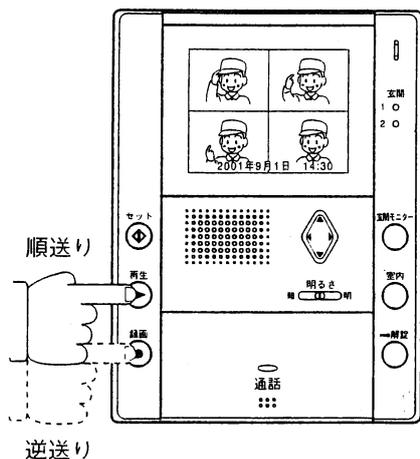
録画画面の自動更新機能

録画画面は、設定した「録画モード」の画面数を超えると、最も古い画面を自動的に消去し、新しい画面を追加します。
(未再生画面も消去されます) ※自動的に画面を更新します。



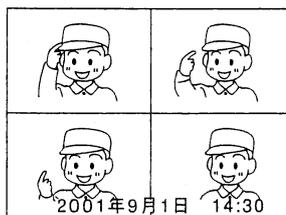
残しておきたい画面は保存することができます。P30

再生する



1 再生ボタンを押す

最新の画面が再生されます。



16画面(4分割)の録画モード

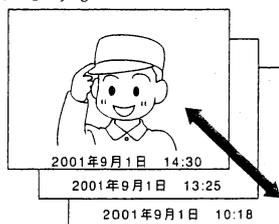


16,32,60画面の録画モード

2 ひとつ前の録画面を見る

● 順送りする...  ボタンを押す

再生ボタンを押すごとに、1つ前に録画された画面が表示されます。



新しい順に前の画面が表示されます。



最後の画面

↓ の入った最後の画面の後は、最初の画面にもどります。

● 逆送りする...  ボタンを押す

録画ボタンを押すと、逆送りになります。

重要

16画面(4分割)または16画面の録画モードで設定されていると、再生時に録音内容もあわせて再生します。(1画面当たり約15秒間)

※32、60画面の録画モードでは録音されませんので注意してください。

P18 「録画モードを決める」

3 終了する

通話ボタンを押します。
(または、最後の操作から約1分たつと自動的に終了します)

録画面がない場合は再生しません。



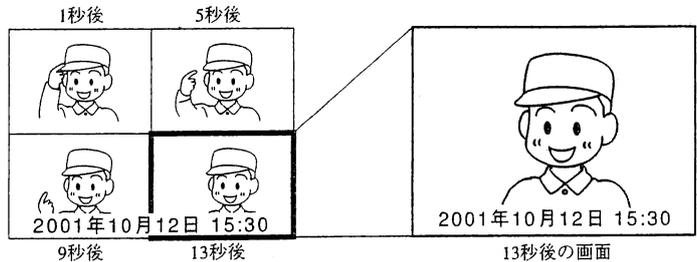
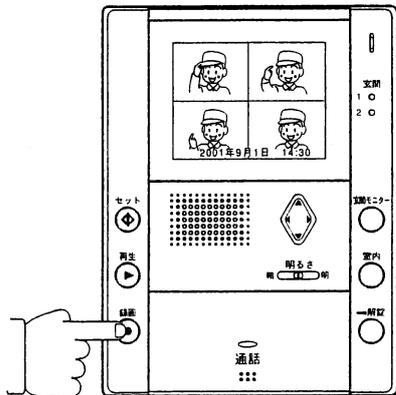
16画面(4分割)の録画モードでは、 ボタンは子画面拡大用となります。**P29**

子画面を拡大する一録画モードが16画面(4分割)の場合のみ

再生中に…… P28

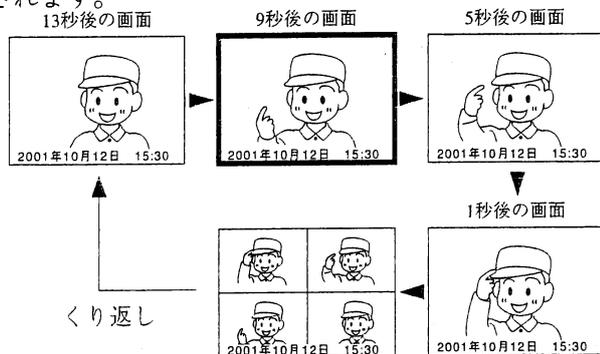
1 録画ボタンを押す

4分割画面が映っているときに録画ボタンを押すと、最後の子画面(13秒後の画面)が拡大されます。



2 子画面を切り替える

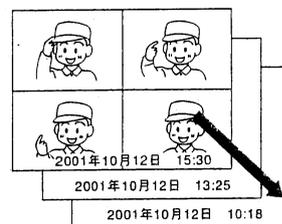
再度録画ボタンを押すと、ひとつ前(9秒後)の子画面が拡大されます。



子画面の次は4分割画面になり、上記の順でくり返されます。

3 録画面面を切り替える

再生ボタンを押すと、ひとつ前の録画面(4分割画面)が表示されます。



4 終了する

通話ボタンを押します。
(または、最後の操作から約1分たつと自動的に終了します。)

メモ 16画面(4分割)の録画モードでは逆送りはできません。途中で終了するときは、通話ボタンを押してください。また、手動録画されている画面(4分割されていない画面)は拡大できません。

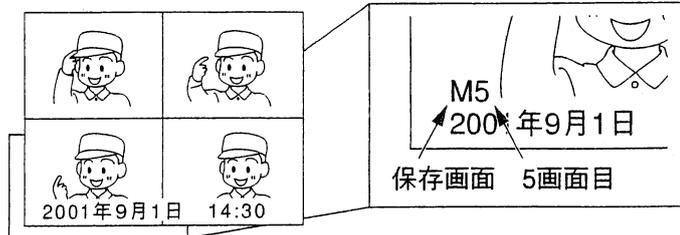
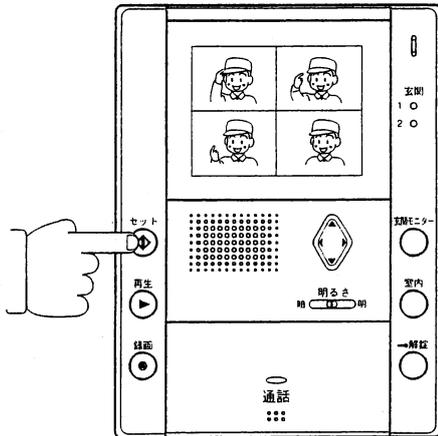
■保存する

最大8画面まで保存できます。(16画面(4分割)または16画面の録画モードの場合は音声も保存されます)

再生中に…… P28

1 セットボタンを押す

セットボタンを押すと画面が保存されます。



保存画面を示す“M”と、保存されている画面数が表示されます。

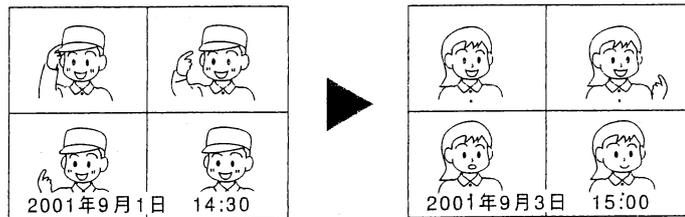
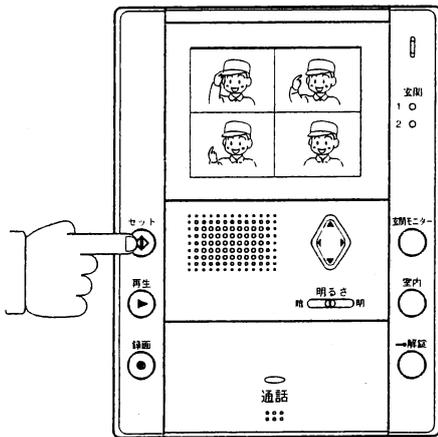
📖 保存された画面は、ほかの操作により上書きされるメモ ことはありませんが、消去操作により消去することができます。 P31

■保存を解除するには

再生中に…… P28

1 セットボタンを押す

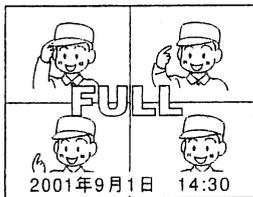
保存されている画面を再生中にセットボタンを押すと“M”が消え、保存が解除されます。



新しく録画されると上書きされます。

📖 保存は解除されますが、消去されるわけではありません。ただし、新しく録画されると上書き(消去)されます。

保存操作中に画面に“FULL”と表示されたら



9画面目を保存しようとする時、画面中央に“FULL”と表示されます。新たに画面を保存したい場合は、不要な画面を解除してください。

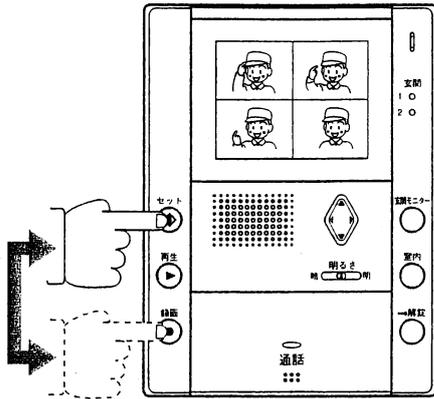
📖 4分割モードの子画面再生中に保存操作をすると、4画面すべてを1画面として保存します。

■消去する

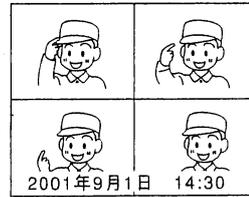
再生中に…… P28

1 消去したい画面を表示させる

再生操作により、消去したい画面を表示させます。P28



消去したい画面



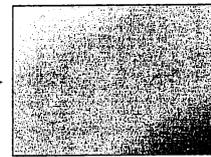
2 消去する

セットボタンを押しながら録画ボタンを同時に2秒間押します。
消去する画面が消え、次画面が表示されます。
次画面が表示されたらボタンから手をはなしてください。

消去したい画面



画面が消去される



次画面が表示される



 16画面（4分割）または16画面の録画モードの場合、
メモ 録音も消去されます。

- 消去の操作をすると、保存画面も消去されます。P30
- 消去してしまった画面は、元に戻すことはできません。
- 16画面(4分割)の録画モードの場合、4つの子画面のうち1画面だけを消去することはできません。

すべての画面を消去したいときは

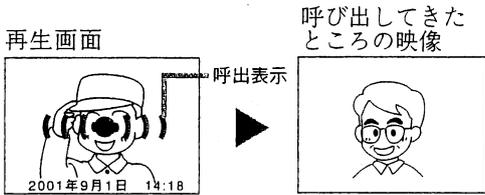
録画モードを変更すると、それまで録画した画面がすべて消去されます。

P18 「録画モードを決める」

■このようにときには

再生中に玄関、センサ(ライト)カメラから呼び出しがあったら

再生画面に呼出表示が表示された後、呼び出してきたところの映像が映り、自動録画(録音)します。
(再生操作は終了します)

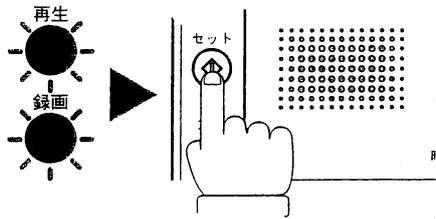


玄関と通話またはセンサ(ライト)カメラの映像を確認します。

- 室内機から呼び出しがあった場合、「呼出表示」は表示されず、再生操作が終了します。
- 再生ボタンを押した直後(約2秒間)に呼ばれると自動録画されません。

再生ボタン、録画ボタンが同時に点灯していたら

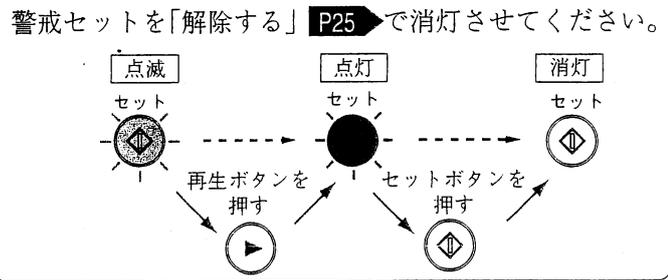
長期間の未使用や長時間(約30分以上)の停電の後などは、再生ボタンと録画ボタンが同時に点灯して「録画機能の準備」の再設定を知らせます。



セットボタンを押す。

再生ボタン、録画ボタンが消灯します。

※さらにセットボタンが点滅・点灯していたら...



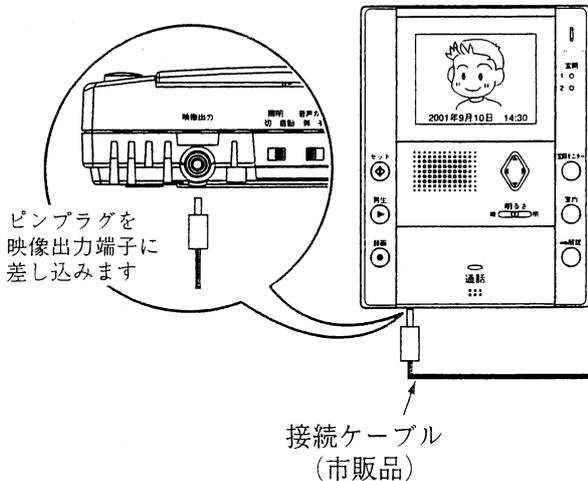
警戒セットを「解除する」P25で消灯させてください。

再度、設定をしてください。P17「録画機能の準備」

- 「録画モード」を変更すると、録画面面(録音内容)はすべて消えます。

AV機器に映像を送るときは

モニターに映っている映像をビデオプリンターなどで出力することができます。



映像信号(NTSC信号)が出力されます。



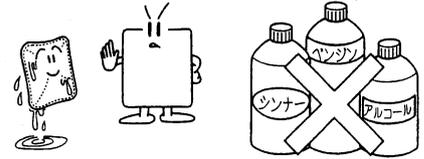
※親機には他の映像機器が接続されている場合は、使用できません。

- 映像のみとなります。録音内容は出力されません。

6. お手入れするには

外観の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
 汚れが落ちにくいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい
 布にひたし、よくしぼってから拭いてください。

シンナー・ベンジンなどの薬品は使用しないでください。
 機器の表面を傷めたり、変色の原因になります。



7. 故障かな？と思ったら

故障かな？	お調べください
解錠しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電していませんか？ ● 宅内のブレーカーが「切」になっていませんか？ ● 電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ ※電源表示灯の点灯（緑色）をご確認ください。 ● 近くで携帯電話、無線機など電磁波や磁気を発生させるものがありますか？
施錠しない	玄関ドア（門扉）部に小石やゴミがたまっていますか？ ※開扉表示灯の消灯をご確認ください。
解錠時間が短い	解錠時間の変更はできません（約30秒）
警告音「ピーピーピー」が鳴る	警戒設定中に鍵や内鍵で解錠していませんか？
暗証番号で解錠できない	暗証番号を変更していませんか？
電動サムターンつまみを手で回すと固い（玄関ドアのみ）	建て付けの狂いにより電動サムターンの動きが途中で止まると、その場所で固くなります。ストライク調整を行い、一度電動で動かすと元にもどります。
ストライク調整方法 ネジを緩めて位置を調整した後、 ネジを締め固定します。	

末永くご利用いただくために、ご使用前にこの取り扱い説明書を最後までお読みください。
 なお、ご不明な点などがありましたら最寄りのトステム（株）の営業所にお問い合わせください。



トステム株式会社

本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1

掲載商品に関する商品相談は
お客様相談室へ

TEL(03)3638-8181
フリーダイヤル ☎ (0120)126-001

トステムインターネットホームページ

<http://www.tostem.co.jp/>

その他商品の相談窓口 TEL(03)3638-8181

- 住宅用サッシ・ドア
- ビル用サッシ・スチールドア
- リビング建材(内装建材)
- バスルーム・洗面化粧台・システムキッチン
- エクステリア建材
- 外装建材(サイディング・外壁材)

2004年10月1日発行

